										No1
事務事業	<b></b>	日暮里・	舎人ライ	ナーの利用・	促進	<u>部課名</u> 担当者名	都市整備部都市 田中仁		課長名	菊池秀明 2811
		▲ ○小事業名 ・ド(22年度				12380	<u>                                     </u>		的版	2011
事務事業	業の種類		業 (	22年度	21年度	)	建設事業		それ以外	トの継続事業
開始年度		昭和	平成	60		根拠				
終期設定 実施基準		1 1 1	無	抑甘淮山		法令等 自基準	計画区分	÷⊥	· <u> </u>	非計画
			基準内 安全安心都	<u> 都基準内</u> 8市[ ]		日埜午	前四位力	<u> </u>	<u> </u>	干部四
行政 事業	体系	政策 施策	利便性の高 総合的な3	高い都市基盤 交通体系の整	整備[12-0	03]				
日的	整備に関 的として	する基本記 整備された	計画について	て」の答申の る。荒川区と	中で位置	づけられ、区	『部北東部の交通	利便性の向	上と、沿約	心とする交通網の 線地域の発展を目 力ある街づくりを
対象者 等	日暮里・	舎人ライナ	トー利用者、	、沿線事業者	・居住者	等				
内容	あ(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	記 記 記 に に に に に に に に に に に に に	として区は、 要等】 3駅 区内4 P成20年3月 60円~320円 、7276億円(1 、7277年部1 ソフラ部(1 ジフラ外(1 約20分(表)	、 経営 代 ・ 経営 代 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日	法を図るた。 「大きなである。 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「大きないでは、 「はいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっと、 「しいっ	め、利用促進約9.7km) と、赤土小島では ・赤土小島では ・赤・ボールの ・赤・ボールの ・ボーの ・ボーの ・ボーの ・ボーの ・ボーの ・ボーの ・ボーの ・ボー	Z区の舎人地区に 注を推進する。 校前、熊野前)、 校前、熊野前)、 位関連街路:259 日 足立区30億円 日 足立区30億円 等):東京都建設 東京都地下鉄建 編成(定員257人、	足立区内9 事里~熊野前 億円) 局 設株式会社	駅 前 220円) :	
経過	平成 8年 8年 9年 7 13年 13年 16年 18年 19年	E 度 2月 E 2月 E 11月 E 12月 B 月 B 月 B 11月 E 11月 E 11月 E 11月	日日都開足東東荒車開荒建桁半里計目区都都区基目横門沿山區等的大學學院,因此一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	舎決年人需交のの年橋に 駅人定次公要通工位次りつ 名線 の園予建事置のよい の園・小野連事置のよい の別・のでは、一切のでは、一切をできる。 ののでは、一切をできる。 しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう はいき かいき かいしょう はいき はいき はいき かいしょう はいき	通シス議 日本の	ム等基 で で で で で で で で で で で で で	経実施(荒川区・/ F度) / を発表 『) F度)	足立区共同	調査)	
必要性	利用促進 要である	にあたり、 。	活力ある行		可欠であ	り、沿線事業	** *者・居住者、事	 業者である	東京都交通	通局との連携が必
>-	(1直営	<u> </u>	)	(直営の対	 場合	常勤	非常勤 臨時	寺職員 )		
実施 方法	・営業	主体である	東京都交通	<b>組織の 関連</b> 性	青報を収集	€し、連絡調	整、協議を緊密に	行う。		

-7							(単1	立:千円)
予		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
算	予算額	218	147	126,815	999,105	8,600	-	-
· :+i	決算額(22年度は見込み)	194	89	91,099	813,455	4,718	-	-
決	人件費		6,033	5,978	5,978	847	407	
好	【事務分担量】(%)		70	70	70	10	5	
算 額 等	合計 ( + )	194	6,122	97,077	819,433	5,565	407	0
の 4	国(特定財源)							
推	都(特定財源)							
移	その他(特定財源)							
10	一般財源	194	6,122	97,077	819,433	5,565	407	0
実	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
績								
の								
推								
移								

No<sub>2</sub>

3	66 . 4m 66	平成20年度(決	算)	平成21年度(決	·算)	平成22年度(予算)		
J.	J, NH 012	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	
第	職員旅費	都市モノ協参加旅費	34					
決								
算								
$\sigma$	負担金補助	都市モノ協分担金等	850					
人	及び交付金	維持管理負担金	3,834					
訴								
14/	'							

				指標の推	移		
指	事務事業の成果とする指標名	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	指標に関する説明
	日暮里・舎人ライナーの整備 進捗率	100%	100%	100%	100%	100%	事業費換算 平成19年度開業
標	乗車人数 (一日あたり)		35,000人	37,000人	40,000人		
1235	工事に係る地元協議会開催回 数	24回					毎月開催(日暮里、西日暮里地区) 平成19年度まで実施

(指標分析)問題点・課題			)の推進を図 ⁻一駅施設お	る ける利用促進に資	する施第	きの検討		
施区	(実施	2	X	未実施	20	区 )		
施状況の実	日暮里・舎人	ライナー	-沿線区(足	立区、北区)				

問題	問題点・課題の改善策検討									
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果								
	日暮里・舎人ライナーの利用促進	沿線地区の活性化と利用者増								

事務事訓	業の分類	分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	カ規にプロモの説明・意見寺
継続	継続	沿線地区の活性化のために利用促進を図る必要がある

・14一定「日暮里・舎人線の平成19年度開業について」

・14四定「尾久橋通りの景観を重視した整備について」

会・16四定「駅舎毎の特徴を出す工夫について」
・17一定「日舎線開業見通しについて」
・17二定「日舎線進捗状況と見通し、(仮称)熊野前駅と駅西側地域との連絡機能について」
・17四定「日舎線西日暮里駅乗降口の弱者対策について」

・18二定「日暮里・舎人線沿線の街づくりについて」 ・18二定「日暮里・舎人線沿線の街づくりについて」 ・18四定「日暮里・舎人ライナー開業イベントの開催について」 ・19二定「日暮里・舎人ライナー赤土小学校前駅 駅務職員の配置について」

No1

										No1
事務事業	業名	バリアフ	リー整備	<b>请促進事業</b>		部課名 担当者名		i部都市計画課 日中仁一	課長名	菊池秀明 2811
		る小事業名 ド(22年度		Jアフリー整	<b>紧備促進事</b>	業費(0′	- 11-	01)		
事務事業	業の種類	新規事	業 (	22年度	21年度	)	建設事	業	それ以外	・の継続事業
開始年月	芰	昭和	平成	13		根拠	高齢者、障	害者等の移動等の	円滑化の促進	<b>圭に関する法律</b>
終期設定	È	有 無	Ħ		年度	法令等	(通称)バ	リアフリー新法( <sup>3</sup>	平成18年法律	第91号)
実施基準	隼	法令基	準内	都基準内	区独	自基準	計画区分	Ė	計画	非計画
	(評価 体系		リ便性の	都市[ ] 高い都市基施 交通体系の						
目的	ある公共 バリアフ	t交通機関 フリー化を	と周辺( 推進し、	の生活関連が	砂等をつ	なぐ線的な	はバリアフ	7リー化、地域	一体での遅	、交通結節点で 連続的・面的な <sup>2</sup> 間形成を重点
対象者等	・公共3	を通事業者 かんきん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	・道』	路管理者・	交通管理	閏者 ・公園	<b>園管理者</b>	・建築主及び	路外駐車場	<b>湯管理者など</b>
内容	の・・・【 法団・【 こバ区新既日「)体交町平れり全た存暮高」等通屋成のでは、	ア本は世界では、こで・1フに重区駅者よのリ区年の周ようでででいる。ではア役度の財産を見つ所にをしている。	バ備バ地構区章交聴 - 辺定リのリ区想交害通取事地した。	フ計フ油検バの事基で、リとり出証り公事基準通バスを基 よフ交 者構議リとバル	リオ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 基本構想で ・ 基本 ・ ここ。 ・ こ。 ・ こ。 こ。	D 策定 I I I I I I I I I I I I I	の促進に関する )協議を進め、 西・進行管理を	5法律(交 併せて高歯 目的に設置	<ul><li>二伴い、区全体</li><li>通バリアフリー 令者や障がい者</li><li>置</li><li>5優先順位が最</li></ul>
経過	平成12年 平成14年 平成18年 平成22年	F 3月 10月 F12月	日暮里第1回3	リアフリーist 駅周辺地区交 交通バリアフ フリー新法が バリアフリー	Σ通バリア 7リー事業 亟行	<b>美推進協議</b> 名		፤ ↓後、毎年1回	の開催)	
必要性	すべての	り人に利用	しやすい	ハ施設等の整	隆備を確実	ミに推進され	せるため、	必要性がある	•	
	(2一部	 3委託	)	(直営の	<del></del> 場合	常勤	非常勤	臨時職員	)	
実施 方法	・基本構	<b>構想の策定</b>	。 には、	` — —	なび区民、	学識経験	当、関係事	業者等からな		E設置する。

							(単1	位:千円)
予		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
算	予算額	63	63	24	24	75	8,610	7,307
· >+	決算額(22年度は見込み)	17	16	16	16	48	7,747	7,307
決	人件費		1,100	2,186	2,196	847	5,701	
算額等	【事務分担量】(%)		20	40	50	20	70	
谷、	合計( + )	17	1,116	2,202	2,212	895	13,448	7,307
ر م	国(特定財源)						2,400	2,300
推	都(特定財源)						1,000	0
移	その他(特定財源)							
	一般財源	17	1,116	2,202	2,212	895	10,048	5,007
実	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
績	開催回数(日暮里駅周辺地区)	1	1	1	1	1	1	1
の	事業者参加率(%)(日暮里駅周辺地区)	100	100	100	100	100	100	100
推								
移								

No2

							1102	
	節・細節		:算)		(算)	平成22年度(予算)		
予		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	
算	食糧費	会議用賄い	6	会議用賄い	5	会議用賄い	8	
•	使用料	会場使用料	5	会場使用料	40	会場使用料	94	
	報償費	手話通訳等謝礼	7	委員謝礼	186	委員謝礼	158	
算	委託料	介助業務委託	30	介助業務委託等	20	介助業務委託等	34	
の				基本構想策定業務	7,497	基本構想策定業務	7,013	
内								
訳								

				指標の推	移		
	事務事業の成果とする指標名	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	指標に関する説明
指	新バリアフリー基本構想策定 の進捗率	ı	-	60%	70%	100%	全体基本構想:60% 地区別基本構想策定毎:10%増
311	日暮里周辺地区バリアフリー 進捗率(道路)	81%	81%	81%	81%	100%	整備済延長/必要整備延長
標	日暮里周辺地区バリアフリー 進捗率(施設)	78.9%	78.9%	100%	100%	100%	バリアフリー対応済施設数 / バ リアフリー対応必要施設数 エレベーター・トイレ

(指標分析)	<ul><li>●・区民からの要</li><li>■ しかし、事業</li><li>そうした状況</li><li>●・全体基本構想</li></ul>	者側にも既存施記 のなか、各事業へ	快していくためには、 役の現況や予算等もな ∖区民要望をいかに耳 情地区(4ヶ所)のノ	5り、要 Xリ入れ	望のすべてを ていくか、こ	E反映して 「夫と検討	いくことは難しい が必要である。	١.
施区	(実施	14 🗵	未実施	8	区)			
状況室	】 ( 実施 [ ] 千代田区、港区 ] 板橋区、練馬区		区、墨田区、江東区、		世田谷区、 台東区は新済	中野区、 5対応	杉並区、北区、	

問題	問題点・課題の改善策検討								
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果							
	荒川区バリアフリー基本構想(全体構想)に基づき、 順次、重点整備地区における基本構想を策定する。	・区民要望の反映が充実できる。 ・事業の進行管理がさらに把握でき、区と各事業者 との連携強化が図れる。 ・実施計画を作成することにより、目標にあわせて 事業を推進できる。							

事務事業	業の分類	分類についての説明・意見等				
前年度設定	今年度設定	ガ類に プロ ての説明・息兄寺				
重点的に推進	重点的に推進	高齢者等の移動や施設利用の利便性を確保するための最優先の事業である。				

況(要旨	・平成14年一定 三定 四定 ・平成18年三定	日暮里駅のバリアフリー化について 日暮里駅の大改造計画について 日暮里駅総合改善計画について 日暮里駅バリアフリー化の実施状況について
	• 平成18年二正	口春里駅ハリアフリー16の美池水流について
ン状		

			_							No1
事務事業	<b>堂</b> 夕	日暮里駅	総合改善	<b>事</b> 業			都市整備部都市		課長名	菊池秀明
77777	* 1	口骨主例		<b>尹木</b>		担当者名	田中仁一	_	内線	2811
事務事業 及び予算	を構成す 事業コー	る小事業名ド(22年度	日暮	里駅総合改	<b>対善事業費</b>	ł ( 0 1 - 1	12-01)			
	業の種類			22年度	21年度		建設事業		それ以外	の継続事業
開始年月		昭和	平成	14		根拠	首都圏の空港アク			
終期設定			<del>  </del>			法令等	鉄道駅総合改善事			-
実施基準	<b></b>		準内		区独	自基準	計画区分	計	·画	非計画
行政	評価		安全安心		하다 <b>ㅎ =</b> 5 /# /					
	体系			高い都市基						
	TR #E			交通体系の			ルーチロセニタ	+D	# # 500 7 +	は 町のかん
	改善を行		<sup>*</sup>	ま 生駅の 花彩	は矮和15/	(リアノリ-	−化、乗り換え負 	は担い戦争が	<b>覗を図る</b> に	め、駅の総合
対象者 等	・事業主	E体 日	暮里駅整	<b>隆備株式会</b> 養	土(第3セ	クター)				
内容	利用者の の向上を	鉄日暮里駅 ○利便性・ 函るため 既要】	快適性の駅の改良	)向上、	明夕ラッシ 京成日暮 京成スカ JR日暮	ノュ時の混物 事里駅の三原 コイライナ・ 事里駅コン:	新線都心側ターミ 推緩和、 バリア	'フリーイ !の別ホ- i設	化の推進、 −ム化)	乗換利便性
	【開業詞	己念式典】	・事業費 ・工期 ・内容		約226 平成14 平成22	5億円 1年度~2 2年7月19	エレベータ、エス 1 年度(完了) 9 日に成田スカイ より開業記念イベ	アクセス	スが開業す	
経過	14年 15年 16年 18年 19年 21年	8月 都日 10月 日 10月 日 10日 日 1	3市再生フ  春里駅    造物設計  重対策  を対けりのでは  では  では  では  では  でする。  でする。	プロジェスクト 経備株 支 大 大 大 、 議会 で で 設す で で い で で い で で い で い で い で い で い で い で い で い で い で い で に の で の で の に に に に に に に に に に に に に	- (第二次 土設立(克 多転工事等 充合化	で決定)にで 売川区出資! 等	ŕ			
必要性	日暮里縣	尺の総合的	〕改善が示	された。引	事業の実施	をにあたって	改善緊急対策に <sup>*</sup> では、区と京成電 スキームを用いて	鉄が出資	<b>資して設立</b>	した日暮里駅
実施方法	・ 整備	主体(日暮	として日	(直営の 備株)へ区 暮里駅整備	は51% (			職員 ) Ĵ、国20	%、地方2	20%(都15%、

_							(単1	位:千円)
予		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
算	予算額	195,000	215,500	336,676	201,250	245,000	220,750	6,078
24	決算額(22年度は見込み)	86,074	160,176	240,250	192,250	190,000	209,750	6,078
決	人件費		2,586	5,978	5,124	2,118	3,258	
算 額 等	【事務分担量】(%)		30	70	60	25	40	
空	合計( + )	86,074	162,762	246,228	197,374	192,118	213,008	6,078
ر م	国(特定財源)							
推	都(特定財源)							
移	その他(特定財源)							
	一般財源	86,074	162,762	246,228	197,374	192,118	213,008	6,078
実	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
績	日暮里駅総合改善事業補助金	86,074	160,176	240,250	192,250	190,000	209,750	-
の								
推								
移								

No2

	節・細節	平成20年度(決	:算)	平成21年度(決	算)	平成22年度(予算)		
予		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	
算	負担金補	建設事業補助金	190,000	建設事業補助金	209,750	負担金	709	
; <del>+</del>	助及び交							
決算	付金							
月の	委託料					委託料	5,369	
内内								
訳								
п/ \								

				指標の推	趙移		
	事務事業の成果とする指標名	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	指標に関する説明
指	工事進捗率	63.7%	80.5%	100%	100%	100%	既事業費 / 総事業費 (224.2億)
標	一日あたりの乗降客数 (京成日暮里駅)	87,756 人	89,404 人	90,200 人	1	-	京成電鉄発表値
	工事にかかる地元説明会(月 1回)	11	12	12	-	ī	

(指標分析)問題点・課題	1 ⊔ 1	<b>事里駅整備</b>	㈱の円滑	骨な運	営		
施区	(	実施	3	X	未実施	区)	
施状況の実	京浜急	急行蒲田駅	!(大田区	ጃ)、	西武新宿線下井草駅(杉並区)、	西武池袋線東長崎駅(豊島区)	

問題	問題点・課題の改善策検討									
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果								
	利用者の利便性向上に向けた取組みを継続して進め る。	利用者の利便性・快適性の向上								

事務事	業の分類	分類についての説明・意見等			
前年度設定	今年度設定	刀規についての説明・息兄寺			
推進	継続	日暮里駅整備㈱の適切な運営に関する調整を行う。			

日暮里駅総合改善計画と京浜東北線日暮里駅停車について

議・14四定 日暮里駅総合改善計画と京浜東北線日暮里駅( 会・16四定 駅総合改善事業の騒音対策について 要質・17一定 京成線南口の開設について 6間・20三定 京成日暮里駅南口改札の設置について 、22一定 成田新高速鉄道開業イベントの開催について 、220円に 成田新高速鉄道開業イベントの開催について

										No1
事務事業	業名	コミュ:	ニティバス	スの利用促進		部課名担当者名		部都市計画課 日中仁一	課長名	菊池秀明 2811
	を構成す					7		- 1 1—	1 Just	
5 010 5 7	業の種類	311170			21年度	)	建設事	業	それ以外	の継続事業
開始年度終期設定		昭和 有	<u>平成</u> 無	17		根拠 法令等	道路運送	法		
実施基準		法令	基準内	都基準内		自基準	計画区分	÷-	画	非計画
行政 事業	体系	政策 施策	総合的な	高い都市基 交通体系の	整備[12-	03]		PA 1   Par   1   1   1   1   1   1   1   1   1	· * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	(A-11-T) (A-11-T)
国的 区内の主要な交通経路が不足する地域の交通利便性を向上し、高齢者や障がい者等保する。									一等の父連	多動手段を催
対象者等	バス運行	<b>丁事業者</b>	(京成バ	ス株式会社)	)、バス	利用者				
内容	利めまれて、当時では、一人のようでは、一人のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	兄も事業 らな地 タ入要 がい者 本	者用へ 人に促の 京大負ノ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開必に スのはテ 住停千成駅浄屋成住道停業要つ 株円区ッ 駅留住17、留駅19駅約留時ない 式小がプ 、所駅年グ、始年東3.所、大て 会人補小 南、始4月リ12月27、5.1億では、1990年の1991	よび 20円 で 図グ:1日ノハイ 100~20月 11円 で 図グ:1日ノハイ 20月 11円 で 図グ:1日ノハイ 20月 11円 で 10円 11円 11円 11円 11円 11円 11円 11円 11円 11円	し 月 方//0 ハ 町2~発投荒分3/開育E)分へてい 日、シ 利 駅分5/11 を隔5/21 を隔5/21 を隔5/21 を隔発が 運 はバ 可 径間 ぶ 入 に 区 ル 用 区間 にい ア で に で の で で で で か に で で か に で で で で で で で で で で	、 行 車一 ) 分属 片 公別 開 入の ( を 向 の ) の の の の の の の の の の の の の の の の の	費の一部補助	表り) 5f (m、35~40 iが全復)	されているた 台で運行 O分程度)
経過	5 12 8 12 17年 4 18年 2 19年 4	月月月 月月月月月月月日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	長義ス上汐局管成ミくラビ屋がミか会交46人のをバュらッも駅いュらか通の地対策株テ行ュ庭グ用ティジを網延区応統エイに開う一無イ	『知整保」の の の の の の の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に に の に に の に に の に に の に に の に に の に に の の に に に の に に に に に に に に に に に に に	南千と屋は「市川ら会互前荒付千住し前は、整区」(乳パ川開は上駅で)、再 備コ開京 スの始い 東京 ヨミ業成 デタン	R東側地区の/ 原側地区の/ 原側体系を 所 所 の 原 所 の の の の の の の の の の の の の の の	かだるないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	網の整備についる の整備に関する は項目を報告 一丁目)ながら検 に関する協定書 間隔の短縮(16 間隔の傾縮千023	る陳情」提 48の新設( 計してい 」締結 時間あたり	出 (亀戸駅前)、 くとの交通
必要性	区民のタ	也域交通	及び環境	交通として	必要であ	る。				
実施方法	(1直営		) をメンバ	( 直営の ーとする検i		常勤	非常勤	臨時職員 )		
,,,,	P 7 1 C	- 匹佩只	. C	C 9 0 1X 1	1 A IC (1)	CIDAI 2	~ CVI	`		

	_							
-							(単1	立:千円)
予		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
算	予算額	23,008	-	-	7,840	43,297	5,499	-
24	決算額(22年度は見込み)	16,309	-	-	6,260	28,668	5,450	-
決	人件費		2,586	4,270	4,270	4,235	6,922	
算 額 等	【事務分担量】(%)		30	50	50	50	85	
空	合計 ( + )	16,309	2,586	4,270	10,530	32,903	12,372	0
0	国(特定財源)							
推	都(特定財源)							
移	その他(特定財源)							
12	一般財源	16,309	2,586	4,270	10,530	32,903	12,372	0
実	事項名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
績								
の								
推								
移								

No2

Z	節・細節	平成20年度(決	算)	平成21年度(決	:算)	平成22年度(予算)		
7'		主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	主な事項	金額(千円)	
算	委託料	委託料	1,533	委託料	5,450			
: <del>-</del>	工事請負費	工事請負費	16,464					
決算	負担金補助	負担金補助及び交付金	10,000					
の	一般需用費	消耗品費	671					
内内		身障者本人運賃補助						
訳		障害者福祉課事業						
II/ \								

					指標の推	移		
	指	事務事業の成果とする指標名	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値 (25年度)	指標に関する説明
		「さくら」 乗車人数 (一日あたり)	1,092人	1,188人	1,237人	1,300人	1,300人	
	標	「汐入さくら」 乗車人数(一日あたり)		490人	789人	800人	900人	
123	120							

分	問題点・課題	· C O 2排出	量等環境	負荷に配	慮した車両	の導入	について	011で検討す 検討する必 011で検討す	要がある。			
施	他以	(実施	16	X	未	実施	6	区)				
状況	他区の実	中央区、港区、 板橋区、練馬		、文京区、 区、葛飾区		I東区、	大田区、	世田谷区、	渋谷区、	中野区、	杉並区、	北区、

問題,	問題点・課題の改善策検討								
	平成23年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果							
	「さくら」運行に関する庁内検討会の継続実施	・利用者増による収支改善 ・運行ルート拡大の検討							

事務事業	業の分類	分類についての説明・意見等				
前年度設定	今年度設定	刀規にプロでの説明・意見寺				
推進	/仕1年	高齢者・障がい者、交通不便地域に住む住民の日常生活の足として欠かせないものである。				

議 15年三定 南千住四、八丁目地域を含めたルートの選定を要望する 9年二定 コミュニティパス再編でより利便性の高い街に~2ルートの提案 10年一定 第3のルート導入 20年二定 コミュニティパス「さくら」の汐入地域への路線の延伸 状 22年二定 コミュニティパスの新設